

事業計画書

申請年月日 令和7年1月21日

応募者名 〔グループ応募の場合〕 はグループ名	大島航空事業共同企業体
-------------------------------	-------------

Ⅱ 事業計画

1 運営方針

(1) 運営に対する理念、基本方針

施設の設置目的や本公募の目的を踏まえ、大島空港格納庫内航空機整備事業の運営に対する理念や基本方針について記載してください。

1. 運営理念

大島空港格納庫内航空機整備事業は、「安全性の確保」「効率的な運営」「地域と航空事業の発展」を柱とし、調布飛行場からの小型飛行機移転を円滑に進めることで、利用者の利便性向上と地域経済の活性化に貢献します。

私たちは、共同提案するグループの専門分野の強みを活かし、航空機整備事業を通じて、大島空港の利用率向上、大島を含む東京諸島全体の観光の促進、航空機を利用した島嶼部飛行場の利用率向上、ネットワークの強化、利用者が安心して航空機を運用できる環境の提供を目指します。

2. 基本方針

1. 調布飛行場からの小型機移転の円滑化

- 調布飛行場から移転した小型自家用機所有者が、スムーズに大島空港を拠点として運用を開始できるよう、要望される整備サービスやサポート体制を整えることに努めます。

2. 安全性の最優先

- 国際的な整備基準や国内航空法を厳守し、航空機の安全な運航を支える整備体制を確立します。

3. 利用者目線のサービス提供

- 小型自家用機所有者及び航空事業者の要望を捉え、柔軟で迅速な対応を実現します。

4. 地域経済への貢献

- 大島空港を拠点とした航空機運用の拡大を支援し、観光客やビジネス利用者の増加による地域経済の活性化を目指します。
- 地域人材の雇用促進及び育成を通じ、地域との共生を図ります。

5. 環境負荷の軽減

- 廃棄物処理やリサイクルに関する法令を遵守し、地域環境を保全します。

6. 継続的な改善と技術革新の導入

- 業務運営においてPDCAサイクルを徹底し、利用者の声を反映したサービス改善を行います。

本事業は、大島空港における小型航空機の整備環境の充実を図り、調布飛行場からの小型機移転を促進するとともに、地域社会及び航空業界の発展に寄与することを目的として事業を行う。

(2) ノウハウを活用した総合的な業務展開

大島空港格納庫内航空機整備事業の運営において、貴社のノウハウをどのように活かし、総合的に業務を展開していくか記載してください。なお、複数の法人がグループを結成して応募する場合は、各構成員の役割分担や連携について示してください。

グループが持つ、航空商社業、航空運送業、建築設計業、メディア業、人材派遣業、環境エネルギー業など本業務に活かせることが出来るものと考えております。

その中でも、小型飛行機の航空運送事業、小型航空機（PIPER、TBM 他）及び各種資機材の販売代理店業務については、本事業の運営に対して大きく役立つものと考えます。

1. 実績に基づく整備業務の効率化（構成員）

- **標準化された整備プロセスの導入**
整備手順の標準化を実施することで、作業品質の均一化と効率化を図ります。
- **整備スケジュールの最適化**
整備対象機材の特性や運航スケジュールに合わせ、柔軟かつ効率的な整備計画を立案します。

2. 専門技術者による高度な整備対応（代表者）

- **定期点検及び予防整備**
調布飛行場から移転してくる小型機や地元で運航される小型航空機を対象に、要望に応じて安全性を確保するための定期点検及び予防整備を実施します。

3. ICT を活用した整備管理システムの導入（構成員）

- **整備履歴のデジタル化**
整備やハンドリングを実施した航空機ごとの整備履歴や部交換記録、利用履歴をデジタル化し、適切な整備取り扱い履歴を残します。

4. 総合的なサービス提供の強化（代表者）

- **航空機運航支援**
整備後の試運転やハンドリング、離着陸後のサポートを含む運航支援サービスを提供します。
- **航空機整備支援**
機体の整備に関する部品の調達及びあらゆる点検・オーバーホールへの対応が可能であり、けん引装置や航空機用バッテリーなど様々な Ground Support Equipment の代理店を行っており、利用者の様々なニーズに対応することが可能です。
- **利用者対応**
技術相談やアフターサービスを充実させ、信頼性の高い関係を構築します。

5. 環境負荷軽減の取り組み（代表者及び構成員）

- 使用済み部品や廃棄物の適切なリサイクル処理を行い、環境負荷を軽減します。
- 環境配慮型の整備手法を導入し、地域環境の保全に努めます。

6. 総合的な目標（代表者及び構成員）

- 培われたノウハウを最大限活用し、大島空港格納庫内での航空機整備事業を「安全」「効率」「地域貢献」を軸に総合的に展開します。これにより、地域と運航者双方にとって価値のある施設運営を実現します。大島空港が東京島嶼航空ネットワークの中核として発展することを目指します。

2 コンプライアンス遵守に向けた取組

大島空港格納庫内航空機整備事業の運営に当たり、貴社のコンプライアンス遵守に向けた具体的な取組（諸規定の整備、組織体制、研修等）について記載してください。

1. 基本方針

大島空港格納庫内航空機整備事業の運営において、法令、規制、社会的規範を厳守し、高い倫理観を持った事業運営を徹底します。航空業界における安全性確保と信頼性向上を目指し、全従業員がコンプライアンスを重視した行動を実践します。

2. 諸規定の整備

- **コンプライアンスマニュアルの策定**
航空法や労働安全衛生法など、関連法令を網羅したマニュアルを作成し、業務に従事する従業員に周知します。
- **行動規範の整備**
倫理かつ法令遵守の観点から社員が取るべき行動を具体的に示します。

3. 組織体制の構築

- **コンプライアンス委員会の設置**
役員及び管理職を中心とした委員会を設置し、定期的に運営状況を点検・評価します。
- **コンプライアンス責任者の任命**
各部門に責任者を配置し、日常業務における法令遵守の徹底を監督します。
- **内部通報窓口の設置**
法令違反や不適切な行為を匿名で報告できる仕組みを設け、早期是正に努めます。

4. 従業員教育・研修の実施

- **法令遵守研修**
本業務に従事する者は、航空法、環境関連法、労働法など、整備業務に関わる主要法令の研修を就業前に実施します。
- **倫理研修**
本業務に従事する者に業務遂行における誠実性と社会的責任の重要性を学ぶ機会を提供する。

3 管理体制

(1) 管理体制に対する基本的な考え方

大島空港格納庫内航空機整備事業の運営を効果的・効率的に行うための管理体制に係る基本的な考え方について、組織図や業務分担、指揮命令系統を具体的に示した上で記載してください。

また、業務の一部を委託する場合において、どのように指導・監督するかについて記載してください。

1. 基本方針

大島空港格納庫内航空機整備事業の運営において、安全性、効率性、そして利用者満足度の向上を追求するため、明確な管理体制を構築します。組織全体が一体となり、業務を効果的かつ効率的に遂行するために、役割と責任を明確化し、迅速な意思決定と柔軟な対応を可能にする体制を整備します。

2. 組織構成

- 管理部門
 - 全体の運営方針を策定し、事業計画の実施を統括します。
- 整備部門
 - 航空機整備及び検査業務を担当し、整備品質と安全性を確保します。
- 業務サポート部門
 - 部品調達、在庫管理、業務調整、記録管理を支援し、整備部門の円滑な運営をサポートします。

3. 指揮命令系統

- 責任者の設置
 - 管理部長を最高責任者とし、各部門に部門責任者を配置します。
 - 部門責任者は、部門内の業務を統括し、直接の報告・連絡・相談の窓口となります。
- 指揮命令フロー
 - 管理部長から全体方針や重要事項が部門責任者に伝達されます。
 - 部門責任者は、それを基に具体的な業務指示を各員に指示を出し、進捗状況を随時報告します。
- 整備部門
 - 定期整備、故障修理、機材点検業務
 - 必要部品の交換・調達の調整
- 業務サポート部門
 - 部品在庫管理
 - 整備スケジュールの調整と関係機関との連絡
 - 各種記録の保管及び監査対応

4. 管理体制強化のための取り組み

- システム化による情報共有

- 業務の進捗、整備履歴、在庫状況などをリアルタイムで共有できる管理システムを導入します。

- **緊急対応体制の整備**

- トラブル発生時に迅速かつ適切に対応できる緊急連絡体制を構築します。

3(2) 人員配置計画

本表とは別に、勤務ローテーション表（標準月1か月分；A4版：任意様式）を提出して下さい。

区分	雇用形態等			役職	担当業務内容（具体的に）	能力、資格、業務経験年数等	1週間の勤務時間	備考
	常勤	非常勤	委託					
雇用職員	○			事業部長	回転翼機整備、ハンドリング	一等回転翼航空機整備士	16	
	○			事業部長代理	固定翼機整備、ハンドリング	二等固定翼航空機整備士	16	
	○			グループ長	固定翼機整備、ハンドリング	一等固定翼航空機整備士	24	
	○			グループ長	回転翼機整備、ハンドリング	一等回転翼航空機整備士	16	
	○			室長	回転翼機整備、ハンドリング	二等回転翼航空機整備士	7	
業務委託								
計				-	-	-	-	-

- (注) 1 職員一人ごとに記入（1職員につき1行）して下さい。
- 2 「雇用形態等」については、該当する欄に○を付けてください。
- 3 「常勤職員」とは、週40時間程度勤務し、貴社が複数年にわたり雇用する職員とします。
- 4 「非常勤職員」とは、アルバイト、パートなど随時的に雇用する職員及び派遣職員とします。
- 5 役職については、事業を実施する上で必要と思われる役職を記入してください。
- 6 能力、資格、業務経験年数は、実際に配置する予定職員を想定の上、記入してください。
- 7 直営で営業する場合は「雇用職員」に、各種作業も含め業務の一部を委託する場合には、「業務委託」に記入してください。

令和7年4月ローテーション表

日	月	火	水	木	金	土
		4月1日 整備士A 整備士B	4月2日 休	4月3日 整備士C 整備士D	4月4日 整備士C 整備士D	4月5日 整備士A 整備士E
4月6日 整備士A 整備士B	4月7日 休	4月8日 整備士A 整備士B	4月9日 休	4月10日 整備士C 整備士D	4月11日 整備士C 整備士D	4月12日 整備士A 整備士E
4月13日 整備士A 整備士B	4月14日 休	4月15日 整備士A 整備士B	4月16日 休	4月17日 整備士C 整備士D	4月18日 整備士C 整備士D	4月19日 整備士A 整備士E
4月20日 整備士A 整備士B	4月21日 休	4月22日 整備士A 整備士B	4月23日 休	4月24日 整備士C 整備士D	4月25日 整備士C 整備士D	4月26日 整備士A 整備士E
4月27日 整備士A 整備士B	4月28日 休	4月29日 整備士A 整備士B	4月30日 休			

(3) 航空機のけん引業務に係る体制

格納庫内航空機のけん引業務について、予定している体制や管理方法等を記入してください。

1. 基本方針

格納庫内の航空機けん引業務は、安全性、効率性、正確性を最優先に実施します。作業中の事故防止と作業効率の向上を目的として、明確な体制を構築するとともに、適切な管理方法を徹底します。

2. 業務体制

- **けん引チームの編成**
 - 各作業時間帯に専任のけん引スタッフを配置。1 チームあたり以下の構成で作業を実施します：
 - **チームリーダー（1 名）**：全体の指揮及び作業監督、航空機の位置確認及び周囲安全確認を担当。
 - **けん引オペレーター（1 名）**：けん引装置の操作を担当。
- **交代制勤務**
 - 格納庫の利用状況に応じて、シフトを組み、業務負担を分散します。

3. 使用機材

- **けん引装置**
 - TOWFLEXX TF2
 - TOWBOTS STANDARD TOWBOT
- **予備機材**
 - Mototok TWIN 7500 Flat ※都が所有するけん引装置

4. 安全管理方法

- **作業前チェック**
 - けん引装置及び補助機材の点検を実施し、異常がないことを確認します。
- **周囲確認**
 - 作業前に格納庫内の障害物や作業環境を確認し、航空機及び設備の安全を確保します。
- **作業手順の標準化**
 - けん引業務の手順を明文化したマニュアルを作成し、全スタッフが遵守します。

5. スタッフ教育及び研修

- **技術研修**
 - けん引装置の操作方法や航空機に関する研修を就業前に実施します。
- **安全教育**
 - 航空機移動に伴うリスクや事故防止策についての教育を徹底します。

- **緊急対応訓練**
 - 万が一の事故やトラブルに備え、対応手順を習得するための訓練を定期的に行います。

6. 業務管理方法

- **作業記録の保持**
 - けん引業務の実施内容を記録し、トラブル発生時に迅速に対応できる体制を整えます。

(4) 人材育成

大島空港格納庫内航空機整備事業の運営に必要な人材の育成方針や計画、具体的な取組について記載してください。

1. 基本方針

大島空港格納庫内航空機整備事業の成功には、高度な技術を持った専門スタッフと、業務全体を円滑に運営できる多能工の育成が不可欠です。これにより、安全かつ効率的な整備業務の提供と、サービス品質の向上を目指します。人材育成は単なるスキル向上にとどまらず、職務に対する責任感と倫理観を育むことを重視します。

2. 育成計画

● 初期研修

事業開始時に、配置される従業員に対して、以下の研修を行います：

○ 業務概要と規程の理解

事業の運営方針、格納庫内の安全規程、法令遵守に関する基本的な理解を深めます。

○ 整備技術の基礎教育

航空機整備の基本的な理論や作業手順を習得し、実務に直結するスキルを身につけます。

○ 安全管理・リスクマネジメント研修

作業中のリスクを最小限に抑えるための手法や、緊急時対応について教育します。

● 継続的なスキルアップ研修

従業員は、定期的な研修や実技訓練を行い、業務スキルの向上を目指します：

○ 専門技術研修

整備技術の最新動向を取り入れた研修や、新たな整備技術の習得を支援します。

○ 安全訓練・災害対応訓練

災害時や緊急事態に備えた訓練を年1回実施し、対応力を強化します。

3. 具体的な取り組み

● 現場実習を通じた育成

整備作業を実際に担当する中で、座学だけでなく、現場での実習を重視します。チームリーダーによる指導のもと、実務を通してスキルを習得します。

● OJT (On-the-Job Training) の実施

実務を通じて学ぶOJTを積極的に取り入れ、各自の業務レベルに応じた実践的な指導を行います。具体的には、機材点検や修理作業、航空機けん引業務などを経験しながら、技術者としての成長を促進します。

4. 地域との連携と協力

● 地域人材の育成

大島空港の運営が地域社会に貢献することを目指し、メーカーや運航事業

者と連携し、航空業界経験者、地域の若年層や転職希望者向けの育成プログラムを実施します。小型航空機整備技術、ハンドリングに関する実務的なスキルを地域に還元し、地域雇用の創出を支援します。

5. 総合的な目標

- 人材育成の最終目標は、技術力と責任感を兼ね備えた航空機整備のプロフェッショナルを育成することです。これにより、大島空港格納庫内航空機整備事業が高いサービス品質と信頼性を提供し、地域社会の発展にも貢献できるよう努めます。

4 安全管理

(1) 格納庫利用者に対する安全管理

格納庫利用者に対する安全管理について、どのように対応するか具体的に記載してください。

1. 基本方針

格納庫内での航空機整備や運用が安全かつ効率的に行われるよう、利用者の安全確保を最優先に取り組みます。航空機整備事業に関わる全ての関係者が、安全意識を高く持ち、共通のルールのもとで行動することが重要です。利用者が格納庫を安全に使用できるよう、事前の説明、施設内の安全管理、リスク評価の徹底を行います。

2. 安全管理体制

- **安全管理責任者の設置**

安全管理を専任する責任者を配置し、施設内で発生し得る事故やリスクの管理を徹底します。責任者は定期的に安全監査を実施し、安全対策の効果を確認します。

- **安全委員会の設置**

定期的に安全委員会を開催し、格納庫の安全状況をチェックするとともに、利用者の安全に対する提案を受け、改善策を講じます。

3. 利用者への事前説明と安全教育

- **利用者向け安全オリエンテーション**

新規利用者には、格納庫内での安全ルールや注意点を説明するオリエンテーションを実施します。オリエンテーションでは、施設内の安全設備（消火器、緊急出口など）の使い方、作業中の危険区域の説明、個人防護具（安全靴、ヘルメット、手袋、耳栓など）の使用方法について指導します。

- **安全マニュアルの配布**

格納庫利用者には、施設内で遵守すべき安全規則や手順、緊急対応をまとめたマニュアルを配布します。このマニュアルには、作業場内の標識や危険物取り扱いの注意点、緊急時の連絡方法などが詳細に記載されています。

4. 施設内での安全管理措置

- **危険区域の表示と立ち入り制限**

格納庫内での作業において、危険を伴う区域（例えば、動力装置や機器の近くなど）は明確にし、立ち入り制限を設けます。利用者には事前に立ち入り禁止区域を説明します。

- **個人防護具（PPE）の使用義務化**

作業者には格納庫内での作業時に、適切な個人防護具の着用を義務付けます。これにより、事故やけがのリスクを最小限に抑えます。

5. 事故発生時の対応

- **事故報告制度の整備**

事故やヒヤリハットが発生した場合、速やかに報告するための体制を整備します。利用者には、事故発生時に直ちに安全管理責任者または関係者に報告することを依頼します。

- **事故後の再発防止策の検討**

事故発生後は、原因を徹底的に調査し、再発防止策を講じます。必要に応じて安全管理体制を見直し、利用者と協力して改善策を実施します。

6. 安全文化の定着

- **日々の安全確認と声かけ**

安全管理責任者及びスタッフは、日々の作業開始前に安全確認を行い、作業中も利用者に対して安全を意識した声かけを実施します。

- **安全意識の向上活動**

定期的に安全意識を高めるための活動（安全パトロールなど）を実施し、全員が安全を最優先に考える体制を維持します。

(2) 危機管理体制

大島空港格納庫内航空機整備事業の運営に伴う事故及び事件並びに災害等、想定される危機及びそれに対する対応策と体制について、具体的に記載してください。

1. 基本方針

危機管理体制は、航空機整備事業の運営における事故、事件、災害に迅速かつ効果的に対応できるよう、従業員全員の意識を高め、事前準備を徹底します。危機発生時には、指揮系統を明確にし、適切な対応を取るとともに、再発防止策を速やかに講じます。また、利用者及び地域社会の安全を最優先に考慮し、必要な場合には外部機関との連携を強化します。

2. 危機管理体制

● 危機管理責任者の任命

危機管理全体の統括を行う責任者を任命します。責任者は、緊急事態発生時における指揮を執り、対応策を決定します。また、現場指揮官として、状況の収集と速やかな対応を実行します。

3. 想定される危機と対応策

● 航空機の整備中の火災

- 危機発生時の対応：迅速に消火器を使用し、火災が広がらないように対応。状況が深刻な場合は、消防署への通報を行い、緊急避難を指示します。
- 対応体制：火災発生直後に安全担当者が現場の状況を確認し、必要な場合は危機対応チームが現場に集結。消防署が到着するまで自衛消火活動を継続します。
- 事後対応：事故調査を行い、原因を究明。火災防止策を再確認し、再発防止策を講じます。

● 航空機整備中の機器故障による事故

- 危機発生時の対応：事故が発生した場合、速やかに作業を中止し、緊急対応チームを現場に派遣します。事故の詳細を確認し、被害を最小限に抑えます。
- 対応体制：技術スタッフと安全担当者が協力して、事故の収束を目指します。外部機関（例：航空機メーカー、エンジンメーカー、保険会社）との連携を強化し、必要な支援を得ます。
- 事後対応：事故原因の究明と、再発防止策を検討。整備手順や安全対策を見直し、スタッフへの再教育を行います。

● 自然災害（地震、台風、大雨、噴火など）

- 危機発生時の対応：災害発生時には、事前に整備しておいた緊急避難経路を利用し、速やかに従業員や利用者を避難させます。緊急時には災害支援機関への連絡を行い、必要な物資や支援を手配します。
- 対応体制：災害時には、危機管理責任者が全体の指揮を執り、現場の安全確認を行います。また、地域自治体や防災機関と連携し、災害対応を共同で行います。
- 事後対応：災害後の復旧作業を迅速に行い、業務を再開します。災害の影響評価を行い、設備やインフラの補修を速やかに実施します。

- **テロや外部による事件**
 - **危機発生時の対応**：事件発生時には、直ちに警察への通報と共に、緊急対応チームを派遣し、現場の状況を把握します。利用者や従業員の安全を最優先に避難指示を出します。
 - **対応体制**：警察との連携を密にし、捜査協力や情報提供を行います。施設の警備体制を強化し、再発防止策を講じます。
 - **事後対応**：事件後の調査を行い、安全対策を見直します。また、従業員に対してセキュリティに関する再教育を実施します。

4. 危機対応訓練の実施

- **定期的な訓練の実施**

事故や災害に備えた訓練を定期的の実施し、全従業員が緊急時の対応方法を熟知するようにします。訓練内容には、火災対応訓練、避難訓練、救急処置訓練などを含めます。

5. 危機管理情報の迅速な共有

- **情報伝達手段の確保**

危機発生時には、迅速に関係者への情報伝達を行うため、衛星通信や一般業務用無線システムなどを使用します。また、緊急時連絡先を事前に把握し、情報をリアルタイムで共有します。

5 利用者サービス

(1) 営業日

営業日についてどのように設定するのか、その考え方を記載してください。

1 営業日（該当するものに○で囲んでください。）

① 無休とする。

② 休業日を設定する。

2 1 ②を選択した場合の具体的な内容

利用者の状況に応じて、不定期で週 2 日程度の休業日进行ける。

事前にホームページ等で休業予定日を明示し、休業予定日であっても利用者の要望により、可能な限り対応出来るように努め、利用者に不都合が生じない様にする。

3 2 とする理由

業務の質と従業員の労働安全を確保するため休業日进行けます。

1. 従業員の健康管理と休息

ハンドリング業務は身体的負荷が高いため、従業員が適切に休息を取ることで、心身の健康を維持し、業務効率の向上を図ります。

2. 設備点検及び保守作業の実施

業務に使用する機材や設備の安全性を確保するため、定期的な点検・メンテナンスを行う必要があります。休業日はこれらの作業を円滑に行うために設定されています。

3. 業務品質の向上

従業員が十分な休息を取り、業務環境を整備することで、事故やミスを未然に防ぎ、顧客に提供するサービスの品質向上を目指します。

4. 法令遵守と労働環境の改善

労働基準法などの関連法令を遵守し、働きやすい環境を整備することで、従業員のモチベーション向上及び離職率の低減を図ります。

以上の理由により、当社では休業日进行け、従業員とお客様双方の満足度向上に努めます。

(2) 営業時間

営業時間についてどのように設定するのか、その考え方を記載してください。

1 営業時間（該当するものに○で囲んでください。）

① ☒ 大島空港の運用時間と同様とする。

② 大島空港の運用時間とは異なる時間とする。

2 1 ②を選択した場合の具体的な内容

3 2とする理由

(3) 航空機整備に係る料金

大島空港格納庫での航空機整備事業について、貴社が提供する具体的な整備項目、整備項目ごとの具体的な金額設定及びその考え方を記載してください。

1. 基本方針

大島空港格納庫内での航空機整備事業において、提供するサービスの料金は、整備項目の複雑さ、所要時間、必要な資材や部品に基づいて適切に設定します。また、顧客満足度を高めるため、透明性のある料金体系を提供し、整備内容に関する詳細な見積もりを事前に提示します。料金は適正価格を維持しつつ、安全性と品質を最優先にした整備を実施します。

2. 整備項目と料金設定

(1) 定期点検（オイル交換、エンジン点検等）

● **整備内容**

- エンジンオイル交換
- フィルター交換
- エアフィルター点検及び清掃
- 各種センサーやオイルラインのチェック

● **金額設定：**

- オイル交換：¥50,000～¥100,000（エンジンタイプによる）
- フィルター交換：¥50,000～¥150,000（部品費込み）
- その他点検（各センサー、ラインチェックなど）：¥30,000～¥100,000

● **料金の考え方：**

料金は航空機のエンジンタイプや機体規模に応じて変動します。部品の費用が含まれており、顧客に提供するサービスの品質を確保するため、整備スタッフのスキルと経験に基づき料金を設定しています。

(2) 機体外装の点検及び修理

● **整備内容：**

- 外装部品の視覚点検（外装のひび割れ、腐食の有無など）
- ボディの小修理（塗装や傷の補修）
- 機体構造の点検（翼や胴体の強度チェック）

● **金額設定：**

- 外装点検：¥20,000～¥50,000（作業時間に応じて変動）
- 小修理：¥50,000～¥100,000（修理内容により変動）

● **料金の考え方：**

機体外装の修理は、航空機の状態や修理範囲に応じて価格が決まります。定期的な外装点検は、長期的な安全性確保のために必要なサービスです。修理作業の難易度により料金変動します。

(3) エンジン整備（オーバーホール、部品交換）

● **整備内容：**

- エンジンのオーバーホール ※実作業はエンジンメーカーに発注
- ピストン、シリンダー、バルブ等の交換
- エンジンの精密点検及び部品交換

- **金額設定:**
 - エンジンオーバーホール：¥1,000,000～¥10,000,000（エンジンの種類や作業内容により異なる）
 - 部品交換（ピストン、シリンダー等）：¥200,000～¥600,000（部品の種類により異なる）
- **料金の考え方:**
 エンジン整備は高額な部品費と高度な技術を要する作業が伴うため、費用は比較的高額になります。料金設定は、エンジンの種類（ターボプロップ、レシプロエンジン等）や作業の難易度に基づいています。

(4) 電子機器の点検及び修理

- **整備内容:**
 - 航空機の通信機器、計器類、ナビゲーション機器の点検
 - 故障箇所の診断
 - 必要な部品交換（アンテナ、無線機、GPS等）
- **金額設定:**
 - 計器類点検：¥20,000～¥50,000
 - 部品交換（無線機、GPS等）：¥30,000～¥150,000
- **料金の考え方:**
 電子機器の整備は、機器の種類や問題の範囲によって金額が異なります。特に、航空機のナビゲーションシステムや通信機器は高度な技術を要するため、部品交換が必要な場合は高額になることがあります。料金は、部品費用と作業時間を基に設定しています。

(5) 機内設備の整備（座席、内装等）

- **整備内容:**
 - 座席の点検及び修理（シートベルトの確認、シートの固定状態）
 - 内装の損傷修理（内装材の交換、クリーニング）
 - ライト、エアコン、その他装置のチェック
- **金額設定:**
 - 座席修理：¥50,000～¥300,000（修理範囲・材質による）
 - 内装修理：¥50,000～¥500,000（修理内容により変動）
- **料金の考え方:**
 機内設備の整備は、比較的簡単な作業から高度な修理まで多岐に渡ります。修理内容や交換する部品の種類により料金が決まります。内装の損傷が大きい場合や特殊な部品が必要な場合は、料金が高くなる傾向があります。

3. 料金設定の考え方

料金は、作業に必要な時間、使用する部品の費用、作業を行うスタッフのスキルや経験に基づいて設定しています。また、安全性と品質を最優先にし、小型航空機の整備が長期的な信頼性と安全性、並びに当地での継続性を確保するものであることを重視しています。料金設定にあたっては、業界標準や市場価格を参考にしつつ、透明性のある料金体系を提供しています。利用者には事前に

見積もりを提示し、納得の上でサービスを提供します。安全性を最優先し、品質の高い整備を行います。

(4) 航空機けん引業務に係る料金

大島空港格納庫での航空機のけん引業務について、使用するけん引装置の製品名、具体的な金額設定及びその考え方を記載してください。

都が所有するけん引装置を使用する場合は、その旨も記載してください。

① 使用するけん引装置の製品名

主利用機材①

- 「TOWFLEXX TF2」
- 最大けん引能力：4,000 kg 対応
- 電動式で環境負荷が低い設計
- 操作性に優れたハンドリング機能搭載

主利用機材②

- 「TOWBOTS STANDARD TOWBOT」
- 最大けん引能力：6,800 kg 対応
- 電動式で環境負荷が低い設計
- 遠隔操作、一人で運用可能
- テールドラッガー機の対応可能

予備機材

- 「Mototok TWIN 7500 Flat けん引装置」 ※都所有機材
- 最大けん引能力：75,000kg 対応

② 料金設定

航空機けん引業務の料金は、以下の通りとします：

- 基本料金：60,000 円（1 回当たり）
- 追加料金：けん引作業が営業時間外に実施する場合には基本料金の 30%割増。
- 待機料：作業開始前後、利用者側の都合で 20 分以上待機が発生した場合、1 時間ごとに 10,000 円加算。

③ 料金設定の考え方

1. コストカバー

- けん引装置の導入及び保守費用を基本料金に反映。
- 人件費及び諸経費を計算に含め、適正な利益率を設定。

2. 需要に応じた柔軟性

- けん引距離については、1 回あたり無制限。
- 作業時間帯による料金差を設けることで、公平性を確保。
- 夜間作業時の割増料金により、スタッフ確保や安全対策強化に伴う追加コストをカバー。

3. 業務の継続性

- 島嶼部空港での小型航空機利用者の需要に応えるため、適切な価格設定でサービスを提供。
- 事業の健全性と継続性を維持する為の料金とした。

(5) 利用者サービスの向上

利用者のサービス向上を図るための取組について具体的に記入して下さい。

また、利用者のサービス向上を目的とした自主事業の実施予定がある場合は、①提案内容、②提案理由、③収入・支出見込額を併せて記入して下さい（なお、自主事業の実施に当たっては、都との協議が必要になります。）。

① 提案内容 - I

「大島空港格納庫交流ラウンジ」の設置

格納庫内に交流ラウンジを新設し、観光案内や休憩スペースを提供します。このラウンジでは、以下のサービスを行います：

- 大島の観光地やイベント情報の紹介（デジタルサイネージ・パンフレット配布）。
- 利用者が気軽に立ち寄れるカフェスペースの併設。
- 無料 Wi-Fi や充電ステーションの提供。

② 提案理由

1. 利用者満足度の向上

利用者に快適な待合空間を提供し、滞在中の満足度を向上させるため。

2. 観光促進と地域経済の活性化

観光案内を充実させることで、島内観光の活性化を図り、地域経済に貢献する。

3. 雇用の創出

ラウンジスペースの運営及び維持管理に際し、地元からの雇用を考える。

③ 収入・支出見込額

収入見込額

- 観光ラウンジカフェの売上：年間 100 万円
 - 広告収入（観光案内デジタルサイネージへの掲載料）：年間 15 万円
- 合計収入：年間 115 万円

支出見込額

- 設備投資（ラウンジ内装・設備設置）：初期費用 300 万円
 - 運営コスト（人件費・原材料費・光熱費・備品費用）：年間 100 万円
- 合計支出：初年度 400 万円、以降年間 100 万円

実施スケジュール（案）

- 2026 年 4 月：関係機関との協議
- 2026 年 8 月設備設計・工事開始
- 2026 年 10 月：交流ラウンジオープン

この取り組みを通じて、利用者にとって魅力的なサービスを提供し、大島空港の利用促進と地域社会への貢献を目指してまいります。

提案が認められなかった場合、応募はどうしますか。
右欄の数字のいずれかを○で囲んでください。

- 1 応募を取り下げる。
- 2 ☐ 本提案が却下されても応募する。

代表者の航空商社部門の強みを活かし、利用者が必要とする航空機部品や資機材を迅速に調達できる体制を整えます。

① 提案内容 - II

航空機用部品及び資機材の販売

航空機整備や運航支援に必要な部品や資機材を、格納庫内で販売する自主事業を行います。必要とする航空機部品や資機材を迅速に調達できる体制を整え、駐機・格納時の利便性向上を目指します。また、取り扱う製品には、消耗品（オイル、グリス等）や緊急交換部品（フィルター、パッキン等）を含め、幅広いラインナップを提供します。

② 提案理由

1. 利用者の利便性向上

大島空港での駐機・格納に際し、必要とする部品や資機材の調達の手段を提供することで、航空機の安全性や稼働率を向上させ、利用者の利便性を高めます。

2. 格納庫の利用促進

部品販売の提供は、大島空港格納庫の利用の付加価値を高め、これにより、新たな利用者と呼び込む効果も期待されます。

③ 収入・支出見込額

収入見込額

初年度は、航空機部品及び資機材販売による売上を約 300 万円と想定しています。これは、年間 30 件の取引を目標とし、平均単価 10 万円の商品を見積もりの見込みです。

支出見込額

初年度の初期投資（在庫調達費、棚設置費等）として 100 万円、運営費用（人件費、仕入れ費用等）として 150 万円、計 250 万円を見込んでいます。

実施スケジュール（案）

- 2025 年 8 月：関係機関との協議
- 2025 年 10 月：必要部品の洗い出し・予備品の購入・提供サービスの検討
- 2026 年 1 月：サービス開始

この取り組みを実施することで、利用者サービスの向上だけでなく、格納庫の利用価値を一層高めることが期待できます。

提案が認められなかった場合、応募はどうしますか。
右欄の数字のいずれかを○で囲んでください。

- 1 応募を取り下げる。
- 2 ☐ 本提案が却下されても応募する。

(6) 要望等の把握、業務への反映

利用者からの様々な要望や苦情等を把握し、事業や利用者サービスに反映する方法について具体的に記載してください。

1. 意見収集の仕組みの整備

- 格納庫や関連事業の利用者を対象に、アンケートを実施し、定期的に集計・分析を行います。アンケート及び分析結果は、都とも共有できる様にしたいと考えます。
- ホームページの開設や専用アプリを整備し、オンラインフォームを活用してメールやウェブサイトを通じた意見受付も行います。これにより、情報発信はもとより、潜在的な利用者の要望や声も受け取れます。

2. 直接的なコミュニケーション

- スタッフが利用者と日常的に対話を行い、現場での課題やニーズを直接的に把握します。

3. 迅速な対応体制の構築

- 収集した要望や苦情は、速やかに担当部署に共有し、対応策を検討します。要望や苦情は、都にも共有します。
- クレームに対しては、事案ごとに担当者が誠実に対応し、結果を利用者にフィードバックすることで信頼関係を構築します。

4. 業務改善への反映

- 集計された要望や苦情を定期的に分析し、課題の傾向を特定します。その結果を基に、必要に応じてサービスの改善計画を策定・実行します。

6 東京都事業への貢献

(1) 大島空港及び地域の活性化に資する取組

大島空港及び地域の活性化に資するような取組について、記載してください。

(なお、自主事業の実施に当たっては、都との協議が必要になります。)

構成員の専門性やネットワークを活かし、大島の観光資源を開発・強化するプロジェクトを推進します。

1. 観光促進の協力

大島の豊かな自然や特産品を活用した観光プランを提案し、国内外からの観光客誘致を図ります。具体的には、本土からの新たなアクセスの提案や、季節ごとの特色あるツアーを企画し、地域経済の活性化に協力します。

2. ホテル等の宿泊施設の誘致

大島は豊かな自然など観光資源に恵まれています。宿泊施設の不足や多様性の限界により、国内外の観光客の増加や長期滞在を阻む課題が存在しています。これらの課題を解決し、地域経済を活性化させるため、構成員のノウハウを生かし、インバウンドや長期滞在者向けの新規ホテル等の開発を検討します。

3. レジャー施設及び宿泊施設の運営・リノベーション

グループ会社の建築や不動産部門を活用し、空き施設や古い施設をリノベーションして魅力あるレジャー施設及び宿泊施設の開発を検討します。地元の素材や文化を取り入れ「ここでしか体験できない」魅力を提供します。

4. 地元人材の活用と雇用創出

格納庫内における新規事業や様々なサービスにおいて、地元の人材を優先的に採用し、地元生産品を利用する仕組みを導入します。これにより、地域の雇用創出及び産業発展を図り、島民の暮らしに貢献します。

5. グループシナジーの活用

構成員が持つグループ会社の多様なリソース（航空運送事業、宿泊事業、不動産事業、環境エネルギー事業、アグリ&バイオ事業など）を組み合わせることで、独自性の高い観光資源を効率的に開発できます。

6. ブランド価値の向上

地域貢献型のプロジェクトを推進することで、認知度の拡大、社会的評価の向上と持続可能な観光モデルの実現が期待されます。

- (2) 調布飛行場自家用機の移転促進に資する取組
調布飛行場自家用機の移転促進に資するような取組について、記載してください。
(なお、自主事業の実施に当たっては、都との協議が必要になります。)

1. 情報提窓口の設置

自家用機所有者に対して移転を行うための情報を提供します。交流ラウンジ等を通じた相談窓口を設置し、移転準備などの質問に対応出来るようにします。

2. 代替施設の整備と PR

調布飛行場から移転可能な施設として設備を充実させ、利便性を高めます。これにより、所有者が新しい拠点を選択する動機付けを強化します。また、要望に応じて説明会等を開催し、代替施設の利点や利用方法を詳しく説明します。

3. 移転スケジュールの調整支援

移転希望の自家用機所有者が移転に伴うスケジュールを円滑に調整できるよう、相談などのサポートを行います。必要に応じて、関連機関との連携を強化します。

4. コミュニティづくりとネットワーク構築

移転後の利用を円滑に進められるよう、移転した所有者同士をつなぐネットワークを構築します。移転後も利用者間で情報交換ができるコミュニティイベントなどの開催を計画します。

5. 大島への貢献の観点からの啓発活動

移転がもたらす地域経済への貢献について、移転を検討している所有者に向けて啓発活動を行います。

6. 事例の紹介

既に移転を完了した自家用機所有者の事例をホームページ等で取り上げ、体験談を共有します。移転後の利便性や新たな活動機会の創出について具体的なエピソードを発信します。

7. イベントの開催

大島かめりあ空港祭り（仮称）を企画し、調布飛行場自家用機の所有者や AOPA-JAPAN などを通じて開催を案内し、積極的に参加を促し、大島空港への理解と利用の促進を図ります。